

2010年8月1日 京都市国際交流会館 イベントホール

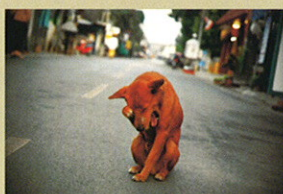
会場: 京都市左京区粟田口鳥居町2-1 TEL:075-752-3010(代)

第1部 表彰式・公募作品審査講評

時間: 13:00~14:30 **田沼武能**
審査委員長 (社)日本写真家協会会長



文部科学大臣賞
「春うらら」/ 浅野 金保



金賞
「二日酔いの朝」/ 関根 健太郎



銀賞
「アートのある街角」
太田 信子
(4枚組の1枚)



銀賞
「スイカと遊ぶ」
後藤 天美子



第2部 記念講演会 **長倉洋海氏** NAGAKURA HIROMI

時間: 15:00~16:30
テーマ: 「地を駆けた30年-写真で伝えるということ」

私は目の前の光景を写真に収めることで、今の時代を感じようとしてきた。
撮ることのできた一枚も、撮れなかった一枚も、強く記憶の底に残り、新たな発見、新しい写真につながっていく。
その中に受け継がれ、息づくものが、「写真を撮ることのエッセンス(本質)」なのかも知れないと思う。
それは時を越えて、「人とは何なのか」を教えてくれる写真、私たちに生きる希望を与えてくれる写真だ。

人を撮り、息づかいを感じ、時代を映し込むこと。
見た人が少しでも、心を寄せることができる写真を撮りたいと願う。
それが私のフォトジャーナリズムであり、生きることそのものだ。



長倉 洋海 ながくら ひろみ

1952年、釧路生まれ。1980年から、世界の紛争地を精力的に取材。写真集「マスード 愛しの大地アフガン」で第12回土門拳賞。「ヘスースとフランシスコ〜エルサルバドル内戦を生き抜いて〜」(福音館)でさがみはら写真賞を受賞。近年の写真集に「ザビット一家、家を建てる」「アフガニスタン〜山の学校の子どもたち」(ともに偕成社)、著書に「フォトジャーナリストの眼」(岩波新書)「ぼくが見てきた戦争と平和」(リビロ)などがある。最新写真集に、30年をまとめた写真集「地を駆ける」(平凡社)がある。



JPS展 関西展 会期: 2010年7月27日~8月1日 会場: 京都市美術館別館

主催 社団法人 **日本写真家協会** 2010JPS展関西展委員会